



第20号

社会福祉法人 大三島育徳会 広報誌

おおしまいくとくかい



社会福祉法人

大三島育徳会

発行日 2024 (令和6) 年4月30日
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL 03-5491-0340
FAX 03-5491-0343
<https://www.oomishima.jp/>

せせらぎ



令和6年度入社式。枝垂桜は間に合わず残念

ご挨拶

理事長 田中雅英



令和6年は、能登地震、羽田空港の事故など不穏な年明けとなりました。被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。

「辰年は変化の年だ」と政権交代を匂わすマスコミがあります。私も気になって調べました。すると、戦後5回しかない辰年のうち3回も総選挙が行われていました。確率は6割です。1976年、田中角栄首相が逮捕されたロッキード事件、1988年、竹下首相が退陣したリクルート事件も辰年に起きていました。そして、今年の1月8日、目白の田中角栄邸が全焼しました。中国の江沢民主席が訪れた自民党権力の象徴とも言える建物が灰燼に帰したことも何かを予兆しているのかも知れません。本年は政権交代がある確率が高いです。岸田首相の総裁任期が明ける9月が衆議院解散、総選挙の有力な候補時期になるでしょうか。

さて、今回の介護報酬改定率は、処遇改善159%、プラス物価高騰等支援0.45%合計204%と決定しました。改定率は大幅な引き上げにはなりませんでしたが、私が副会長を務める全国老人福祉施設協議会は9%の引き上げを要望していました。今後3年間の物価高騰と他産業の賃上げに対応するためです。介護報酬は3年に1度の見直しなので、年に3%かける3年分です。すなわち、この改定率は介護事業者の厳しい経営実態を反映していません。介護職員の月額給与と全産業平均との差額約7万円を埋める水準でもありません。

昨年、首相官邸において、直接総理に陳情したことをはじめ、財務大臣、厚生労働大臣、自民党政調会長に要望書を直接手渡しました。さらに、東京都選出の衆議院議員22名、参議院議員3名の合計25人に要望書を提出するなど、さまざまな陳情活動を重ねた結果としては、全く納得いたしかねる改定率です。

残念ながら、これが介護の族議員がいない結果なのです。春闘の賃上げ率は52%が予測されています。ますます、介護施設で働く職員の給与がほかの産業よりも低くなってしまいます。

介護人材確保、介護関連職種の全産業平均並みの賃金を実現する候補を国会へ送り出したいと心の底から思います。何度も繰り返しますが、「制度は最後には政治決着」になります。みなさん、政治活動に関心を持ってください。

障害者支援局

この展示がきっかけとなり、いくつかの企業様とのコラボ企画案も挙がっています。多くの方に知ってもらう機会として、毎年開催することを目指します。



ついに irodori が玉川高島屋に進出しました！

去る令和5年10月に玉川高島屋で「出張施設公開」と題した展示をさせていただきました。場所は、本館1階グラウンパティオという、吹き抜けで開放感ある休憩スペースの一角です。そこに玉川福祉作業所と等々力分場の普段の活動を紹介するパネルや作品をずらりと並べました。同じ地域にあるとはいえ、なかなか敷居の高い玉川高島屋です。今回、お話をいただいて気持ちが上がると同時に、ハイブランドが立ち並ぶ中どのように展示できるのか、不安もよぎりました。ですが、日ごろ溜め込んだ作品達が待っていましたとエネルギーを爆発させ、アンチニコタマの某タレント○○○・デラックスが見ても「いいね！」をくれるくらい自慢ができる内容で、大好評でした。

出張施設公開 at 玉川高島屋

高齢者支援局

能登半島地震 災害支援派遣

1月1日に石川県で発生した「令和6年能登半島地震」における災害派遣福祉チーム（全国老協協D-W-A-T）として、当法人から2回職員が派遣されました。2月5日～9日（5日間）は介護課長が、姉妹法人である社会福祉法人三交会に出向している介護課長とともに、金沢市内の特別養護老人ホームに介護職として務めてきました。東京都の最初の派遣ということで、現地の情報をネットや老協協から集めて準備を進めました。派遣先施設は、避難者の受け入れを行ったことによる人員不足が生じていました。



派遣施設では、食事や排泄、入浴介助や環境整備を行いました



派遣終了後、近隣を視察しました

大きな地震が起こったらと想像しました。その時私たちはどのようにご利用者、職員、地域の方の命を守っていくのか、本当に一人ひとりの職員が訓練のような行動が取れるのか考えさせられました。また地域の拠点として、関係各所との情報共有をしておくことの重要性、日頃の訓練を身体にし込み、必要と動くように、取り組んでいく必要があると強く感じました。5日間と短い期間ではありましたが、機会があれば、また支援にうかがえればと思います。能登半島地震で被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地が一刻も早く正常な状態に戻ることを願っています。

第二陣として、3月5日～9日（5日間）で看護課長とケアマネジャーが、やはり三交会の看護課長と介護リーダーとともに、輪島の断水している施設に派遣されました。建物の破損はあまりありませんでしたが、給水は横浜市から支援に来た給水車からの水を使い、食事は支援物資を温めて提供していました。災害派遣職員は、自衛隊が近隣に用意してくれた臨時のお風呂を利用しました。とてもありがたかったです。主な活動内容は、食事介助や排泄介助、入浴介助や環境整備などです。レクリエーションも行い、ご利用者に少しでもほっとして頂けるひと時を過ごせるよう努めました。今回災害支援に向かったことで、今、東京で



3月の第二陣メンバー



介護だけではなくレクリエーションも担当しました



「子ども食堂」を開催しました!!

法人の地域公益活動として、令和5年度は子ども食堂を5回開催しました。かふえいどりを会場とし、法人内の他事業所からも職員がボランティアで協力してくれました。

参加者は40名を超える回もあり、客席に入りきらず順番にご案内することもありました。おかげさまで少しずつ認知されてきたことを実感しています。

現在は2か月に一度、奇数月の月曜日に開催しています。広報活動では喜多見地区社会福祉協議会にご協力いただいております。いつもありがとうございます。今年度からは「大三島みんなの食堂」と名前を変え、これまで以上に、どなたでもお気軽にお越しただけのような食堂にしていきます。



多くのリピーターの方にご参加いただきました

◆食材寄付のお願い◆

子ども食堂は、近隣の方や善意銀行などからの寄付食材を中心に、料理を提供しています。賞味期限が切れていない食材や防災食など、ご寄付いただける方は法人本部（博水の郷）03-5491-0340までご連絡ください。よろしくご依頼致します。



梅吉 & みかん

玉川福祉作業所 支援員 佐藤 真奈美

自慢のペット（家族）は、猫様です。

←長男「梅吉」
 おそらく3歳 モト野良猫
 地域の優しい方にご飯をもらい生き抜いた男の子
 家に来た時は泥と油まみれで汚れていましたが今ではよく食べ、よく寝てイケニャンになりました。



→長女「みかん」
 永遠の11歳（虹の橋をわたりました）
 スコティッシュフォールド生まれつき体が弱く2.6キロしかない小さな女の子
 調子崩すことがあっても良くがんばりました。
 動物病院では毎回寝められ、とっても良い子ちゃんでした。



自慢の「みかん」の思い出と、「梅吉」この日々の生活で猫様には救われることが多いですにゃ。

グリ (インコ)

博水の郷 施設サービス部 介護課 佐藤 由佳

私はヨウムというインコを飼っています。名前はグリといいます。

ヨウムは絶滅危惧種なので、CITES（サイテス）という動物の戸籍のようなものに登録しなければなりません。CITESとは、絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）です。ヨウムの譲渡、売買などには登録票が必須となります。売買するつもりは全くないのですが、ヨウムは40～60年生きると言われています。私はグリを43歳で飼い始めたので、私より長生きする可能性が高いのです。登録票なしに売買や譲渡をすると、法律違反になり、罰則の対



象となってしまいます。この登録申請が複雑で、証明写真（正面、真横、足環番号のわかる足のアップ）、購入に至った経緯、購入した販売店、購入の際の領収書、等を申請します。しかも、5年ごとに更新申請が必要なのです！

何よりも大変なのは、毎日のご飯と、活し屋グリの毎日のケージの掃除です。グリ様は、毎日枝豆さやごと15個とゆでとうもろこしを食べます。

ご飯の準備をしていると「ご飯食べる！」と喋ります。私がコーヒーを淹れていると「コーヒー！コーヒー！」、お客様が帰る時は「じゃあね」、私が出かける準備をしていると「ちょっと行ってくるの？」と聞いてきます。ヨウムはただのまねで喋るだけでなく、その言葉の意味をちゃんと理解しているのです。グリと一緒に暮らすのは何かと大変ですが、それ以上のたくさんの幸せと笑いをくれます。



次回は何のペットになるのか楽しみに！



新企画 第1回

職員のペット自慢

職員のかわいがっている
ペットや植物などを紹介します



岸田メール

博水の郷 総務部 岸田 祐貴



今回はペットの紹介記事ということで、実家の愛犬「メール」について書いていこうと思います。

彼のフルネームは、「岸田メール」といいます。土佐出身でオスのトイプードルですが、名前の意味はフランス語で「お母さん」というのだそうです。訳あって前の飼い主から貰い受ける事になり、気付けば10年もの

月日が経ちました。生後半年だった彼も、今や愛らしいおじいさんとなり、本当に時の流れを早く感じます。

「メールは賢いけれど変な犬」というのが私たち家族の共通認識で、メール関連の面白いエピソードがあるたびに呼び名が増えたり、人側が使えない言葉が増えたりします。印象強いものをいくつかご紹介しますので、良ければお付き合いください。

【リンゴ】メールはリンゴが大好きです。リンゴの姿が見えずとも、匂いがする直ぐに台所に忍び寄ってきて食べたいアピールをします。また、リンゴやアップル、アピー等の単語を覚えてしまい、聴こえたと耳を立てて忍び寄ってくるようになってしまいました。そのため、実家ではリンゴの呼称を定期的に変えるこ

とでメール対策をしています。

【ポン】私の実家では、近くにある山から時折タヌキが下りてくることがあります。トイプードルは毛がなかなか抜けにくい犬種なので、しばらくカットに連れて行かないと身体が毛で膨れ上がってしまいます。それはメールも例外ではありません。冬の間に毛を蓄えて、タヌキのような見た目になったメールと散歩に出かけた時、本物のタヌキと偽のタヌキが鉢合わせてしまいました。お互いに相手が犬かタヌキか分からないというように固まっていた、その姿が印象的でした。そこから彼は、「ポンちゃん」や「ポン太郎」と呼ばれるようになりました。

【タコ】メールは、小さい頃から臆病な性格です。普段の散歩の時ですら、決まったコースから絶対に逸れる事はありません。たまには違うルートも歩こうよと誘導しても、木の濃い力で地面にへばりついて動きません。私たち家族はそれが始まる、「またタコね」と思い元のルートに戻ります。メールが「タコ君」と呼ばれている日は、へばりついてたことが分かります。

まだまだ色々なエピソードあり、これから増えていくだろうと思う反面、彼の犬生も折り返しを迎えました。これからメールが楽しく幸せに暮らしていけるように、家族として向き合っていきたいと考えています。





◆ハル日記◆



大三島育徳会の看板犬「ハル」を紹介します。
令和4年11月30日生まれ、シェットランド・シープドック「シェルティ」の男の子です。

令和5年3月に博水の郷へ来ました。

来たばかりの頃は赤ん坊で体も小さく、片手で持ち上げられるくらいの軽さだったのですが、1年であつという間に成長、今は成犬サイズまで大きくなり、抱っこするのも大変な体重になりました（写真を見比べていただければと思います）でも、まだまだやんちゃな子供で、遊ぶことが大好きです。

とても人懐っこく、ご利用者、職員の癒しになっています。初めての方にも人見知りせず挨拶に行くため、ご来所された方にも可愛がられています。

また、職場見学でいらっしゃった方が、ハルのことを気に入って入職を決意してくださったり、施設を探している方が法人のInstagramでセラピー犬がいることを知って利用するようにしてくださったりと、施設のアピールにも貢献してくれています。

すっかりみんなのアイドルになったハル君です。博水の郷にお越しの際は是非かまってあげてください。



生まれて間もない頃↑と今は14kg近くなりました↓



法人寄附について

大三島育徳会は、多くの皆さまから様々な寄附品や寄附金を頂戴しております。数ある法人の中から、当法人を選んで下さったことに、深く感謝申し上げます。いただいた御寄附は、法人運営に活用させていただいています。

◆寄附金のお礼◆

金 200万円：蒲地京子様
金 50万円：佐藤建物倉庫有限会社 佐藤圭祐様
金 10万円：石井和夫様 鈴木宏忠様
金 5万円：田淵滋美様
金 2万円：橋村謹一郎・幸子様
金 1.5万円：本田清隆様
金 1万円：新井慎二様 松原京子様
金 3千円：宮下裕司様
匿名希望
金 20万円：4名 金 1万円：1名
金 6千円：1名 金 3千円：2名

◆寄附品のお礼◆

下田佳代子様：車椅子 1台
匿名希望：ポータブルトイレ 1名
匿名希望：オムツ・ケア用品 2名
匿名希望：お米 2名
匿名希望：マスク 1名
匿名希望：衣類・オーナメント 1名
匿名希望：衣類 1名

貴重なご厚志ありがとうございました。
(令和5年8月～令和6年3月)

せせらぎ 第20号

発行所：社会福祉法人 大三島育徳会 情報広報室
発行責任者：田中美佐
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL 03-5491-0340 FAX 03-5491-0343
<https://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」



編集後記

今年度も大三島育徳会法人全体で16名(中途採用含む)の職員が入職してくれました。数ある法人の中から、ご縁あって一緒に働く仲間となったこの16名と、ご利用者や地域の皆さまにとって、わくわくする取り組みを考えていきたいと思ひます。(Y)